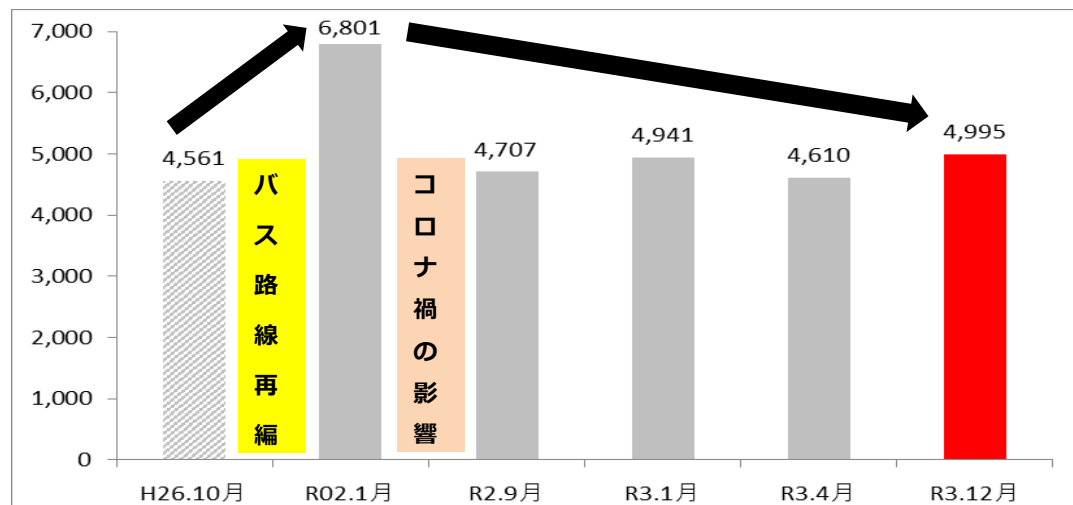


千歳市における 路線バスの利用状況について

バス乗降調査結果

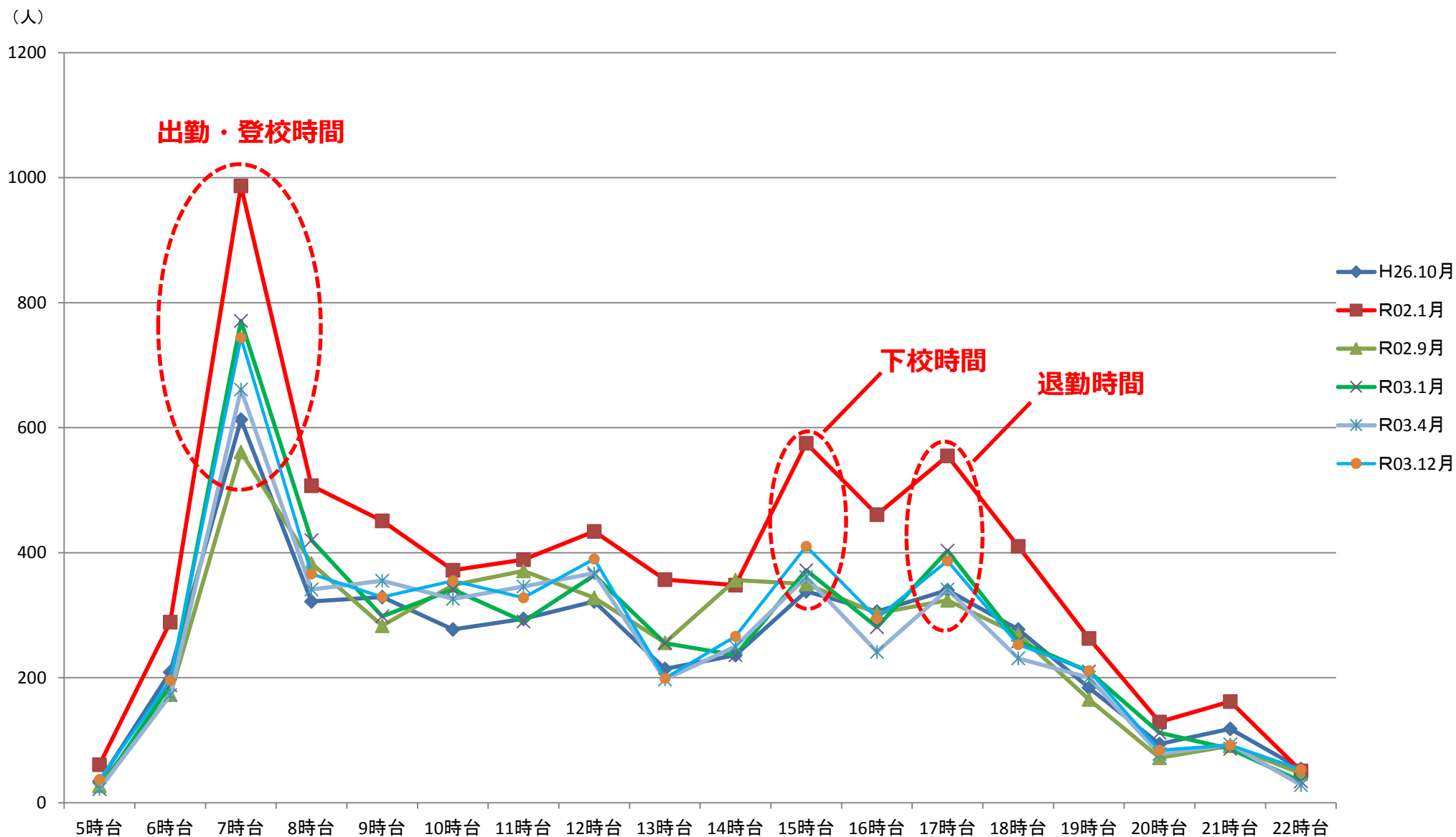
H26.10月		
中央バス	稲穂団地線	414
	桜木空港線	30
	長都空港線	99
	桜木長都線	538
	支笏湖線	195
	大和線	582
	空港市内線	243
	東千歳線	495
	相互バス	泉沢向陽台線
泉沢市民病院線		973
青葉線		171
市	ビーバス	326
合計		4,561

バス会社	路線名	R02.1月	R02.9月	R03.1月	R03.4月	R03.12月	
中央バス	稲穂団地線	527	409	447	357	485	
	桜木空港線	87	82	102	84	89	
	桜木線	122	376	473	439	398	
	みどり台空港線	534	53	49	52	55	
	みどり台線	288	208	254	228	282	
	千歳空港支笏湖線	243	153	89	108	134	
	大和線	818	526	618	622	600	
	空港市内線	309	167	136	158	175	
	東部隊線	729	462	569	484	542	
	相互バス	泉沢向陽台線	493	316	349	314	343
		泉沢市民病院線	1,649	1,276	979	999	1,039
図書館青葉線		338	194	278	217	260	
市民病院プール線		223	132	161	180	186	
勇舞空港線		441	353	437	368	407	
道南バス							
合計		6,801	4,707	4,941	4,610	4,995	



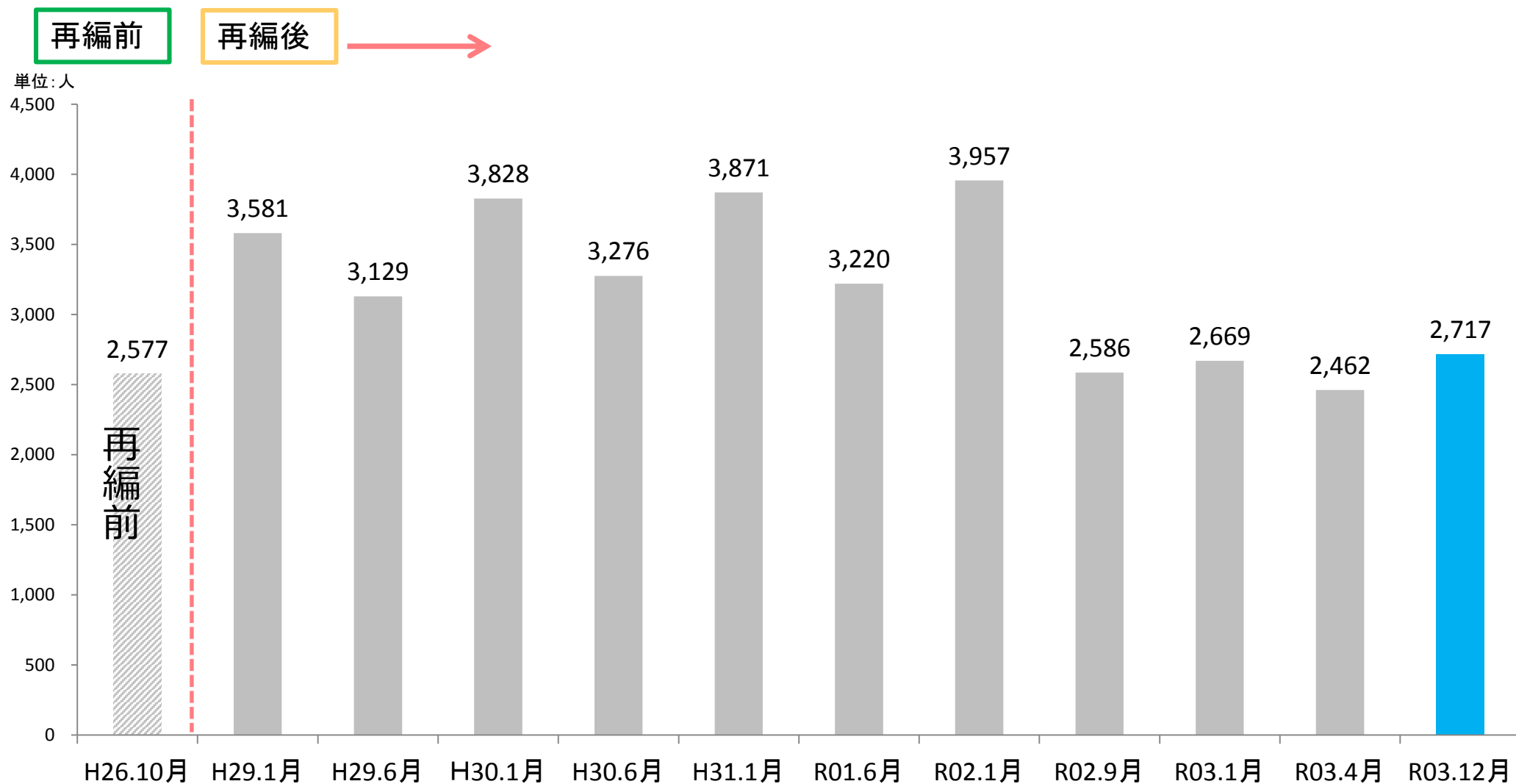
再編前後は増加傾向が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、再編時と同程度まで減少し、コロナ後は、ほぼ横ばいが続いている。

時間帯別利用者数推移（再編前とコロナ後）



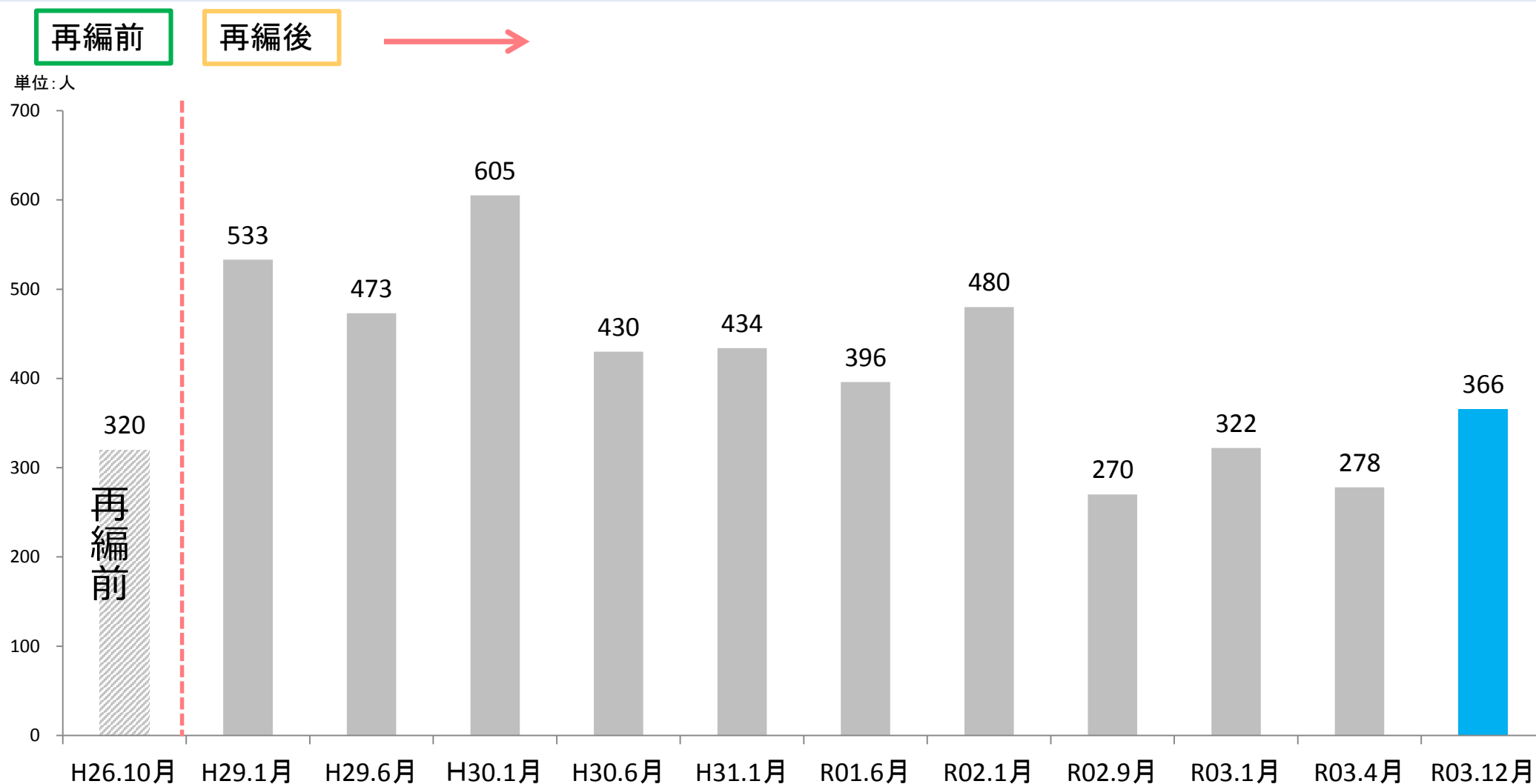
▶バス利用者は、朝の通勤時間帯に集中し、帰宅時間帯にも増加している。

千歳駅 乗降人数比較



→ 再編前と比較し、令和2年1月は約1.5倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、ほぼ横ばいが続いている。

市民病院 乗降人数比較

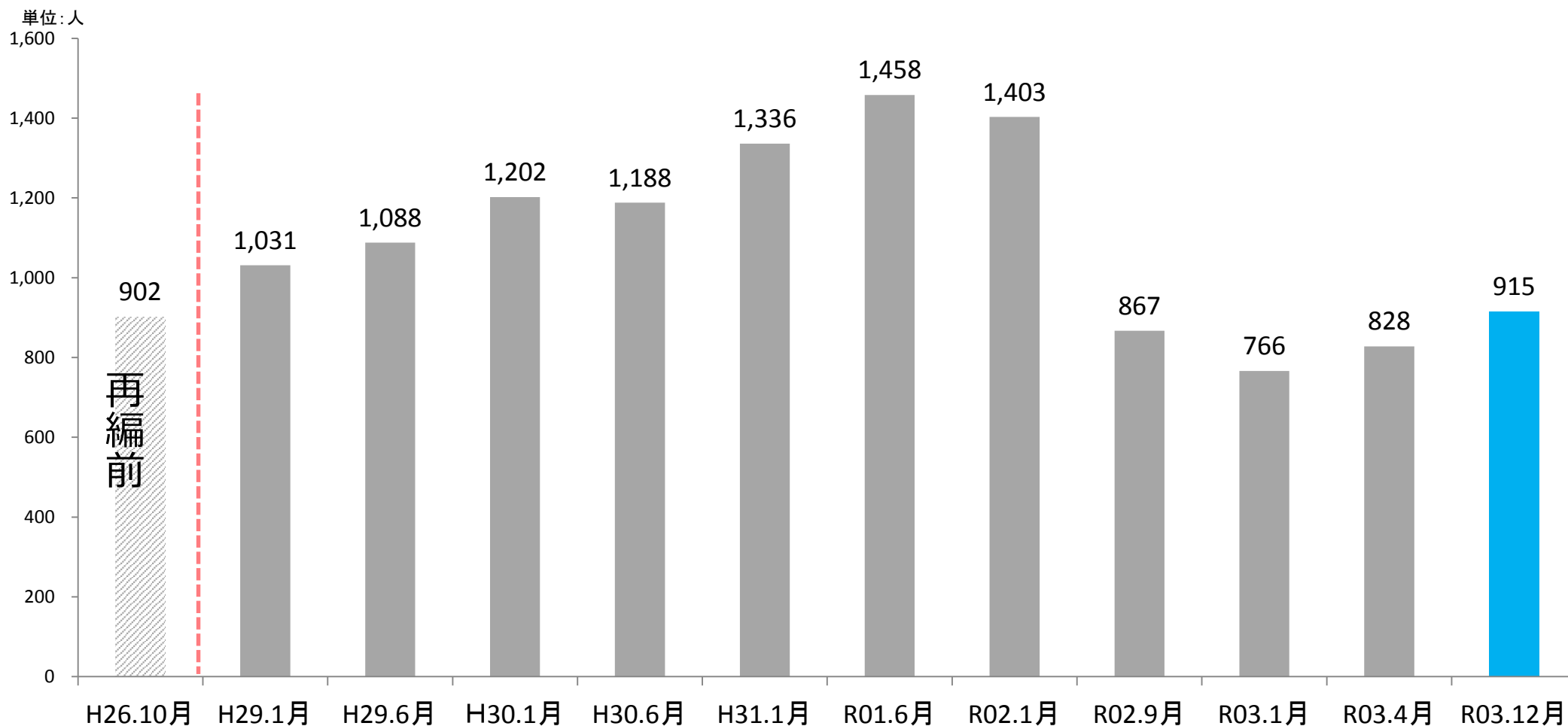


→ 再編前と比較し、令和2年1月は約1.5倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で病院控えもあり再編前より減少した。

新千歳空港 乗降人数比較

再編前

再編後



→ 再編前と比較し、令和2年1月は約1.5倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で空港従業員の利用と合わせ、減少した。

乗継チケットの利用状況

乗継チケット利用者は、再編直後と比較すると制度が浸透し、利用者は増加してきたが、令和2年3月からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数と同様に減少傾向となり、現在までほぼ横ばいで推移している。

(枚)

